

## 1966年の年頭所感

市民のみなさん、明けましておめでとうございます。

この一年が、みなさんのよりいっそうご多幸の年でありますよう心からお祈りいたします。

新らしい年を迎えてここに市政の抱負をのべてみたいと思

魚津市の  
発展は、ま  
ず昨年着工  
しました連  
続高架橋の  
完成であり




ます。本年は、地方鉄道線の高架化にはいるのですが、昨年の国鉄線の線増分の高架化はみことな丁事の進捗ぶりをみせ、みなさんの前にその形が具現されます。としは、地鉄線および電鉄魚津駅前の改築などが行なわれるわけでありますが、市民各位のいっそうの協力をお願いする次第であります。

みなさん明けておめでとう  
ございます。

どうかことしも明るく豊かに、  
そして喜びのうちに過ごされます  
ようご精進のほどお祈りいたしま  
す。

さて、ここに昨年の市政を顧り  
みますと、私たちは数々の抱負を  
もってこれと取り組み、みなさん  
のご期待にそうよう努力を傾けて  
まいりました。十分とはいえませ  
んが、着々市政発  
展の基盤を整え、  
かなりの成果をあ  
げ得たものと信じ  
ます。



これはひとえに市民のみなさんのご協力、賜ものであります、深く感謝申し上げますのであります。

とくに国鉄複線電化にともなう鉄道高架橋建設の問題は、十数億円の大事業であり、本市のようにな小さな都市では、その実現が危うまわっているものであります。しかも、市民のみなさんの熱意によつて、関係諸官庁の理解を得て、着工の運びとなり、工事も順調に進んでおりますことは、誠に喜びに堪へ



市政発展の  
基盤を整備

議長 伊東直二

業育成、農林水産業の振興、観光開発、社会開発、教育の充実など、市民が毎年強く要望している諸問題をたくさんかかえておりますので、予算措置もたいへんだと思いますが、緊急度を勘案のうえ、着実に実行に移して行かなければならないと存じます。

そのほか私は、本年はぜひ市民のシンボルともいふべき市庁舎の建設に着工しなければならないと思いますのと、昨年も申し上げまして年頭の言葉といたしました。

本年も経済の見通しは依然として明るくありませんが、この不況の中でも、心豊かな暮らしの中にあっても、心豊かな正月を過ごされるようお祈りして年頭の言葉といたします。

域開発計画の推移による地域格差の是正という点からも、この広域都市の実現に強力にすすんで行かなければならないと思っております。しかし、これは非常にむずかしい問題もありますので、慎重を期し、議会とともに軌道にのせるよう努力をそそぎたいと考えております。

即ち中小零細企業および商店、

美しく住みよい  
都市づくりを  
市長 高野 亨

市長 高野 宗雄

ルの敷地を確保、宅地造成事業を行いたいと考えております。産業経済基盤の確立は、民生生活の安定をささえるものであり、活の安定をわが国経済の動向に合致する経営の近代化と、金融対策に重点をおきたいと考えております。

即ち中小零細企業および商店、

交通対策としては、道路整備に重点をおき、舗装工事の推進ならびに砂利道路線の整備をすることと、交通事故防止をはかるために、ガードレールの新設、駐車場、待避場また交通安全施設の整備を強力にすすめたい方針であります。

住宅対策については、漁民の方を対象とした低家賃の住宅の建設を

発行所  
 富山県魚津市役所  
 編集発行人 高瀬善一郎  
 (毎月1日発行)  
 魚津市神明町  
 魚津印刷株式会社

人口のうごき

	男	女	計
出生	28	38	66人
死亡	17	19	36人
婚姻			47組

零細漁業の振興に意をつくし、その合理化や組織化を促進するとともに、とくに金融については、あくまでも補足的な役割ながらも、もっと強く、しかもきめの細かい方法など考慮して、企業金融を弾力化し、その振興につくしたいと思ひます。

農業については、食糧の安定的努力しておりますが、危険救済が教育の振興策については、毎年

供給の確保、農業所得の増大、農家生活水準の向上をはかることに重点をおき、ほ場整備事業をすすめるとともに、農産物の生産の合理化の推進、農業構造改善事業、二年度の事業を実施することとしております。また農業共済事業の運営の効率化をはかるため、四月

六校もありますので、逐次改革したいと考えております。また小学校の学区変更については、教育委員会へ要請もあり、将来の見通しに立ち、教育効果のある合理的な適切な適正規模の学校を目標にして、十分審議したいと思っております。

二 建設の高架橋すすむ

大海寺に簡易水道で  
きる

— やく八百人に給水 —



＝ 順調に

大海寺簡易水道の通水式は、12月24日上野方小学校で関係者が集まって行なわれました。

上野方の大海寺および大海寺野地内は、あまり水利がよくないので、最近住宅が建設されたところから、水道の布設が強く要望されてきました。このため水道を布設することになり、昨年7月から工事を始めていましたが、このほど完成したものです。

大海寺簡易水道は1月1日から給水が始められますが、各家庭へは湧水を自然流下の方法で送ることになっております。

この簡易水道は、総工事費千四百三十八万円で布設され、現在の給水人口はやく八百人ですが、将来は千三百五十人を見込んでおり、一日あたりの給水量を換算するとやく二百立方メートルとなります。

市内の簡易水道の布設地区は、これで九地区となり、やく三千三百人に給水していることになりました。



= 順調にすすむ高架橋の建設 = (沖田踏切付近で)

大海寺に簡易水道できる

—やく八百人に給水—

にそい、年々多額の予算を見積りしてまいりましたが、真の血の通づきめの細かい施策の推進によって、福祉増進をはかりたいと考えられています。ことに児童福祉施設の整備拡充は、勤労世帯の切実な要求であり、この対策にとくに力をそそがなければならないと思います。


環境衛生は、日常生活に直結する問題であり、本年は「清掃の日」を設けるなど、挙市一体の環境整理に努力を傾け、美しく住みやすい都市づくりを力をもそぎたいと思っています。

駅前都市改造事業は、思うように進んでいないことは遺憾に思っているのですが、本年は国の事業認証わくの増大に努力いたす、計画を着実に進めたいと思っています。

そのほか市が行なわなければならない施策は、山積しているのではありませんが、市財政の均衡をはからるが逐次実行し、美しく住みやすい都市づくりに専念し、市勢発展の基礎をかためてまいりたいと思っています。

新たな年を迎え、湧き出る希望と決意にみなぎるとき、いかなる訓練に遭遇するとも、これを喜ぶ心で迎え、断じてこれを行なう信念と実行こそ私に与えられた使命と信じ、みなさんの期待にそうもめと信じます。「誠実、公正、協調、奉仕」私はこの信条のもと、自信をもって市民各位のご支援と協力を得て、波瀾を堂々と乗りぬる覚悟であります。

季節の話題 —  
ひのえ うま  
丙午



「来年は、ひのえうまの年だから、こどもが生まれて、もし女だったら将来、嫁にやりにくくなる、……ことしの内にこどもを生んでおこう」などと、昨年下半年の出生率が高かったとかことは、そのひのえうまの年にあたります。

元来うま年とかみ年（昨年）は、方向をあらわす十二支（ねうし、とら、たつ、み、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、いの十二）から由来するといわれています。これが動物の名にふりかえられたのも、童話の世界で、それが女性の人生に影響を及ぼすなど、全く迷信以外のなものでもありません。

謹賀新年

市長	助役	収入役	市議會議員	議長	副議長	伊東直二	長谷川作次郎	南保金作	稲垣文吉	大久保松治	宮内孝成	宮崎直三	宮崎竹二	朝野治作	加藤成司	小坂作次郎	河崎浅之助	吉井正男	野崎栄吉	石川庄之助	細川繁次郎	佐伯新作	加野松雄	後藤広作	中尾政一	森野富治	関口昌次	大島信夫	藤井秀信	奥村順平	西浦三郎	若島正敬	本田正信	鈴木慶三	大谷清瑞	友杉松清	華藏閣行亮	山本允彦	教育長	監査委員会	大崎利吉	奥村順平	選挙管理委員会	委員長	瓜生玄雄	山口勝夫	板井久次郎	公平委員会	伊東忠五郎	本田正男	浜守龍	固定資産評価審査委員会	守谷良雄	木下久	森忠義
農業委員会	会長	伊東清一	山口助夫	宝田保	広田延太郎	上野富平	河崎浅之助	溝口哲蔵	西尾順之助	相馬庄八	黒田清一	小林小左衛門	清水弥太郎	谷口民之	高島作右門	関口時二	大崎利三男	杉山博吉	佐伯新作	関口昌次	長田日晴	火災復興土地区画整理審議会		寺崎孝吉	五十井隆一	岩田豊二	太田重吉	大田正義	桑山太作	小松繁蔵	田原長久	高谷昌利	永田音吉	藤田与一	宮内武一	山口信次	駅前地区土地区画整理審議会		住吉久太郎	宮田与吉	油本十郎	井原作男	大崎利三男	大島正治	西浦繁男	松田栄作	宮田栄次郎	山本重正							



